

第4学年 学級活動（1）指導案

令和4年11月30日（水）第5校時

- 1 議題 「冬のポカポカ会をしよう」
（第4学年 活動内容（1） ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決）

2 議題について

（1）児童の実態

本校は今年度、越谷市立蒲生小学校と越谷市立蒲生第二小学校が合併してできた新設校である。合併したことにより、学級の約半数ずつが異なる学校出身という編成になっている。4月当初は、新しい学校・学級が始まることに楽しみと不安を抱えた児童が多く、新しい友達を作りたい、出身校と関係なく仲良くしたいと思う児童がほとんどであった。4月は出身校が同じ友達と一緒に過ごす様子が多く見られたが、6月には良好な人間関係を築き学校生活を送ることができた。

本学級では、「ハッピー」を合言葉に、自分たちで工夫しながら自主的に活動することを推奨し、自分たちで決めたこと、気付いたことについて積極的に活動するよう促してきた。係活動や当番活動等を通して、共に協力しながら活動をしたり、児童一人一人が随時学級目標を意識したりしながら学校生活を送る姿が見られるようになってきた。自分の係・当番でなくても、自分にできることを見つけて率先して取り組む児童も多く、互いに助け合う姿が多くみられるようになった。

学級活動については、年度当初にオリエンテーションを行い、議題の条件や進め方について共通理解を図った。話し合い活動の進め方については、3年生までの経験から多くの児童が理解している。「みんなと仲良くなりたい、みんなでよりよい関係を築きたい」という気持ちが強い学級であり、集会活動をするときには、特別支援学級に所属する児童も学級会に参加し、共に活動をしている。本学級ではこれまで、「クラスのマークを決めよう」「4年3組なかよし会をしよう」「コロナを吹き飛ばせ！ハッピー夏祭り」「社会科見学に行こう」などを議題に選定し、実践と振り返りをしてきた。みんなで話し合っただけで決めたことをみんなで協力して実践することの楽しさに気づき、さらに自分たちの力で学校生活をよりよくしたいという意識も高まってきている。

話し合い活動において、「自分の考えに自信が持てない」「理由をうまく説明できない」「恥ずかしい」などの理由から、発言に消極的な児童もおり、意見を積極的に伝える児童に偏りがあるのが実態である。一部の児童の意見で合意形成が図られる場面が1学期にみられた。考えをもっている、全体に伝えられずに話し合いが進んでしまうことも課題である。本学級では、発言はできなくてもタブレット端末を通して自分の考えを伝えることができる児童もいる。タブレット端末を用いて自分の考えを提出することで、司会と共有し必要に応じて取り上げるようにしてきた。また、以前の学級会で、「意見がまとまらない」という経験を生かして、計画委員で意見を精選してから学級会に臨んだり、提案理由に合っていて賛成意見の多いものについては、決まっていることに入れてよいか呼びかけたりするなど、工夫を重ねてきた。学級会の最後に振り返る時間を設け、自分もみんなもハッピーになれるような学級会を目指して取り組みを重ねてきた。発言のできない児童でもニコニコマークが描けるような学級会を、児童も目指している。

合意形成後の実践に向けては、多くの児童が意欲的に取り組むことができる。学級活動を通して、集団の中で互いの個性を生かしながら、且つ一人一人の意見をより大切

にする心を育てたい。自分たちが話し合い、実践することで達成感を味わわせ、自主的に豊かで潤いのある学校生活を送れるようにし、自己肯定感を高めていきたい。

計画・実践だけでなく、学級会後の振り返りや事後活動の振り返りから、次への課題を学級全体で見つけ、よりよい活動ができるように取り組ませる。

(2) 議題選定の理由

本議題は、1学期に行った「コロナを吹き飛ばせ！ハッピー夏祭り」を行った際に出た、「冬の寒い季節も楽しみたい」「1年間の終わりが近づいてきたので、さらに仲良くなりたい」という、児童の思いから選定されたものである。「体がポカポカになる玉入れのルール」「心がポカポカになる工夫」「役割分担」という3点について、学級全体で意見を出し合い、互いの意見を尊重し合いながら決めたことについて、協力して計画を立て実践することを通して、一人ひとりが力を発揮することで集団の力も高まることに気付かせるとともに、クラスの合言葉「ハッピー」が体現できるようにしたい。また、自分たちの力でよりよい学校生活をつくり上げているということを実感できるようにしていきたい。

3 第3学年及び第4学年の評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
みんなで楽しい学級生活をつくることの大切さを理解し、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の計画的な進め方を身に付けている。	楽しい学級生活をつくるために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、協力し合って実践している。	学級の生活上の問題に関心をもち、見通しをもったり振り返ったりしながら自己の考えを生かし、他の児童と協力して意欲的に集団活動に取り組もうとしている。

4 事前の活動

日時 活動の場	児童の活動 ○計画委員会 ●全員の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
10/19 (水) 昼休み	○議題案を検討・選定する。 ①「2学期がんばったね会がしたい」 ②「冬のポカポカ会がしたい」 ③「もっと他のクラスのことを知りたい」	・議題の選定の理由を明らかにし、出された意見の中から時期や実践の可能性、話し合いの必要性などを話し合わせて議題を選定する。 (提案された意見) ・計画委員は輪番制とし、多くの役割を経験できるようにする。	◎学級生活をよりよくするために、進んで議題を考えたり、選んだりしようとしている。【態】(提案カード、観察)
10/19 (水) 帰りの会	●議題を決定する。	・計画委員の提案をもとに学級全員で決定する。	◎学級生活をよりよくするために、進んで議題を選ぼうとして

			いる。【態】(提案カード、観察)
10/20 (木) 昼休み	○活動計画を作成する。 ○提案理由を確認し、練り上げる。 ○話し合うこと、めあて、役割を決める。 ○議題や提案理由を学級活動コーナーに掲示する。	・計画委員、提案者の意見を練り上げる。 ・日時や場所などの条件を設定する。 ・前回の反省を生かそうとする視点を持てるようにする。 ・クラス全員が分かりやすい提案理由を作成できるよう助言する。	◎提案理由を踏まえたためあてや柱立てを考えている。【思・判・表】(発言・観察) ◎計画委員会の役割、冬のポカポカ会に向けた話合いの仕方等を理解している。 【知・技】(活動計画、観察)
11/24 (木) 業前 学級の 時間	○話し合う内容を全員に知らせる。 ●学級会ノートに自分の考えを記入する。 ●学習支援アプリでも自分の考えを提出する。	・決まっていることを共通理解できるように必要に応じて助言する。 ・決まっていることを理解した上で自分の考えを記入できるようにする。 ・提案理由に沿った意見が出せるように助言する。	◎体も心もポカポカになるような案を出そうとしている。【思・判・表】(学級会ノート、学習支援アプリ)
11/28 (月) 昼休み	○学級会ノートを見て意見を精選、分類する。意見を短冊に記入する。	・学級会ノートに書かれた意見を整理し、話合いの見通しが持てるようにする。 ・タブレット端末を活用し、意見の精選や分類ができるようにする。	◎体も心もポカポカになるような案を再検討している。【思・判・表】(学習支援アプリ)
11/28 (月) 帰りの会	●各意見について共通理解をする。	・各意見は、話合いまでに比較・検討できるように、教室に掲示しておく。 ・タブレット端末を活用し、各意見について共通理解できるようにしておく。	
11/30 (水) 朝の会	●学級会ノートを受け取る。	・事前に学級会ノートにコメントを書き加え、話合いの意欲を高める。	
11/30 (水) 業間休み	○話合いの進め方や決まっていることの最終確認をする。	・話合いが円滑に進むように確認する。 ・自信をもって話合いに取り組めるように、励す。 ・タブレット端末の使い方について確認をする。	

5 展開

(1) 本時のねらい

自分の思いやみんなの思いを大切にし、めあてや提案理由を意識しながら、体も心もポカポカになる「冬のポカポカ会」の計画を考えることができるようにする。

(2) 児童の活動計画

第12回 クローバー会議 活動計画 令和4年11月30日(水)第5校時		
議題	冬のポカポカ会をしよう	
役割分担	司会() () 黒板記録() () ノート記録() 提案者()	
提案理由	寒くなってきて、外で遊ぶ人が少なくなってきました。休み時間、みんなで遊ぶ機会が減ってしまい、何人かの友達と過ごす人が多いように思います。クラスの合言葉「自分もみんなもハッピー」とは、少し遠ざかっているような気がします。1学期にした夏祭りのときには、みんなの心が一つになりハッピーな思い出ができました。そこで、冬のポカポカ会を開いて、体が温かくなる遊びや、心がポカポカになるようなことをしたいです。そうすれば、冬を楽しめるだけでなくみんなで2学期を終えることができ、3学期もさらにハッピーなクラスになると思い提案します。	
めあて	<ul style="list-style-type: none"> ・体も心もハッピーになれるようなルールや工夫を決めよう。 ・友達の思いを受け入れながら、よりよい意見を発表しよう。 	
決まっていること	①12月20日(火)1時間目 校庭で行う ②やることは、個人競技(しょうがい物競走)と 団体競技(〇〇)	
話合いの順序	気をつけること	
1 はじめの言葉	・気持ちよく始められるよう、大きな声ではっきりと言う。	資料
2 司会グループの紹介	・一人ずつ役わりと名前、めあてをはっきりしようかいう。	
3 議題の確認	・大きな声ではっきりと言う。	
4 提案理由の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者にあらかじめお願いしておく。 ・みんなに分かるようにていねいに説明する。 	
5 決まっていることの確認	・時間、場所、気をつけることを確認する。	
6 めあての確認	・全員で声に出して言う。	
7 先生の話		時計 タブレット端末 短冊 意思表示カード
8 話合い 話し合うこと① 「体がポカポカになる 玉入れのルール」 (15分間)	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板に短冊^{たんざく}を整理してはっておき、話合い①は、「くらべ合う」から話し合う。 ・出された意見に付けたしがあれば先に意見を言ってもらおう。 ・提案理由やめあてにそった内容か、考えてもらう。 	

<p>話し合うこと② 「心がポカポカになる工夫」 (15分間)</p> <p>話し合うこと③ 「役わり分たん」 (3分間)</p> <p>9 決まったことの発表 10 話合いの振り返り</p> <p>11 先生の話 12 おわりの言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・玉についてのルール、かごについてのルール、その他のルール等、整理して短冊をはるようにする。 ・今までのクローバー会議での活動を思い出しながら、どんな工夫ができるか考えてもらう。 ・工夫はいくつあってもよいが、自分たちにできるか考えてもらう。 ・ポカポカ会をしている間の工夫と、事前に準備する工夫を整理して短冊をはるようにする。 ・②については、ルール以外の工夫を話し合う。 ・始めから必要だと分かっている係以外に必要な係があるか、意見を出してもらう。 ・ノート記録係が、先生と協力してタブレット端末でアンケートを学級会前に作成し、付け足しをしてみんなに送る。 <ul style="list-style-type: none"> ・決まったことをはっきりと分かりやすく発表する。 ・自分のクローバー会議への取り組みと友達のよいところを見つける。 ・クローバー会議全体の振り返りをクローバーノートに記入しておき、次の計画委員に引きつぐ。 ・時間があれば、発表してもらう。 <ul style="list-style-type: none"> ・大きな声ではっきりと言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・賛成 ・心配 ・ありがとう ・決定 <p>解決シート タブレット端末</p>
---	--	--

(3) 教師の指導計画

活動の計画	・指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
1 はじめの言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・全員の声をそろえて話合いの意欲を高め、みんなが「ハッピー」になれるような雰囲気を作る。 	
2 司会グループの紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・役割とめあてを発表することで、話合いへの意識を高める。 	
3 議題の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の全員が議題に対する必要感をもてるように、事前の活動等を意識させる。 	
4 提案理由の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者の思いや願いが、学級全体の思いとなるように助言する。 ・提案理由を共通理解できるように伝えるよう助言する。 	
5 決まっていることの確認	<ul style="list-style-type: none"> ・決まっていることを全員で再確認し、話合いがぶれないようにする。 ・意見を出す条件を再確認させる。 	
6 めあての確認 「体も心もハッピーになれるようなルールや工夫を決めよう。」 「友達の思いを受け入れながら、よりよい意見を発表しよう。」	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の学級会での改善点を想起させる。 	
7 先生の話		

<p>8 話し合い 話し合うこと① 体がポカポカになる玉入れのルール 話し合うこと② 心がポカポカになる工夫 話し合うこと③ 役割分担</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ、計画委員で学級会ノートに書かれた意見を整理しておき、話し合う時間を確保する。 ・話し合いに対する自分の考えは、あらかじめ学級会ノートに書いておき、自信をもって話し合いに参加できるようにする。 ・児童の考えをあらかじめ短冊に書き、話し合いの効率化を図る。 	<p>◎提案理由を踏まえて、体も心もポカポカになることについて考え発言している。【思・判・表】（観察・発言・学級会ノート）</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・司会が困っているとき、話の方向がそれたり、よりよい話し合いの方法を学ばせたりしたいときには、積極的に助言する。 ・提案理由を常に意識させて、話し合いが進められるようにする。 ・意見を発表する際には、理由も発表させる。 ・それぞれの意見を大切にし、自分もみんなもハッピーになれる、気持ちの良い話し合いができるようにする。 ・自分の思いや考えに固執せず、友達の考えを聞きながら自分の考えを変えたり、折り合いを付けたりすることも必要であることについて、必要に応じて助言する。 ・できるだけ多くの児童が発言できるように、司会者と記録者が協力をして話し合いを進める。 ・提案理由を意識した意見や、理由が明確な意見、建設的な意見を称賛する。 ・賛成、反対マークを活用し、意見の比較を可視化する。 ・心配・解決カードを使い、意見を整理しながら進める。 ・安易に多数決を採らず、一人一人の思いや願いを生かして決められるよう助言する。 ・ノート記録の児童と一緒に役割分担のアンケートを作成する。 	<p>◎友達の意見を参考にし、新たな意見や折り合い案を考えて発言している。【思・判・表】（観察・発言）</p>

9 決まったことの 発表	<ul style="list-style-type: none"> 決まったことを学級全員で確認・共有できるように、記録者が大きな声で発表するよう事前に指導する。 	
10 話合いの振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 学級会ノートに今日の活動の自己評価、振り返りができるようにする。 相互評価では、発言の回数だけでなく、発言内容や計画委員の成果を称賛するよう助言する。 	
感想発表	<ul style="list-style-type: none"> 司会者が、今日の話合いでの良かった点を発表する。 	
11 先生の話	<ul style="list-style-type: none"> 今回の話合いの良かった点と改善点を伝え、次の話合いにつなげるようにする。 計画委員へのねぎらいの言葉をかけるとともに、合意形成に向かった意見に着目できるよう話をする。また、提案理由に沿った意見、クラスのみんなのことを考えた意見を認め、今後への意欲を高める。 	
12 おわりの言葉		


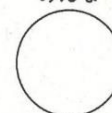
6 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
12/1 (木)	・決まったことを学級会コーナーに掲示する。	・学級会で決まったことの要点をまとめて書けるよう計画委員に助言する。	
12/2 (金)	・役割分担の調整をして、確認する。	・具体的な仕事の内容、誰が行うのか役割分担をしっかりと決める。	
12/5 (月) ～	・係ごとに集まり準備する。	・協力したり、工夫したりして活動している児童を称賛する。	◎冬のポカポカ会における自分の役割、仕事の仕方について考え、実践している。【思・判・表】(観察)
12/20 (火)	・「冬のポカポカ会」を行う。	・計画したことを進んで行い、児童の様子を観察し、助言・支援する。 ・道徳的実践の場として、人間関係を深め、責任感や協力する意識が高まるように声かけをする。	◎冬のポカポカ会に友達と協力して参加している。【態】(感想、ふり返しシート、観察) ◎心がポカポカになる工夫を会の中で実践している。【思・判・表】(観察)
12/20 (火)	・振り返りをする。	・自分の活動やクラスの活動に目を向けさせ、次の活動の改善・継続・意欲につなげる。	◎冬のポカポカ会を振り返り、自分のがんばりや友達のがんばりに気付いたり、次の活動に生かそうとしたりしている。【態】(振り返りシート・観察)

クローバー会議「ハッピーノート」

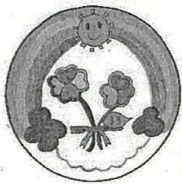
第12回 クローバー会議

名前()

議題	冬のポカポカ会をしよう	
てい案理由	寒くなってきた、外で遊ぶ人が少なくなってきました。休み時間、みんなで遊ぶ機会が減ってしまい、少しみい感じがします。1学期にした夏祭りや、社会科見学、蒲生にカモン!のときには、みんなで協力して楽しくなりました。そこで、さらに協力し合い冬のポカポカ会を開いて、体が温かくなる遊びや心がポカポカになる楽しい会をしたいと思います。そうすれば、冬の寒い日も楽しめるハッピーなクラスになると思うので、てい案します。	
めあて	☆体がポカポカになるようなルールや工夫を決めよう! ☆友達の思いを受け入れながら、よばい意見を発表しよう!	
決まっていること	①12月20日(火)1時間目 校庭で行う。 ②やることは、しょうかい物入れと玉入れ。 ③しょうかい物入れのルールは、係になった人が決める。	
【自分の考えを書こう!】		
話合い①	☆体がポカポカになる玉入れのルール	理由
話合い②	☆心がポカポカになる工夫	理由
話合い③	☆役わり分たん 必要だと思う役わり、協力できる役わりを書く	
【決まったこと】		
①...		
②...		
③...		
【話合いをふり返って】		
前の自分より がんばりましたか。		◎・○・△
友達の思いを受け入れて 話合いができましたか。		
冬のポカポカ会は 楽しみにになりましたか。		
【かがやいたで賞】 ()さん		
理由	自分	みんな
		
クローバー会議のふり返り	よかったところ もう少しがんばりたいこと 次への課題 など	

◆振り返りカード

クローバー会議 ふり返り



名前()

活動：冬のポカポカ会をしよう

計画	①クローバー会議に積極的に参加した。	◎ ○ 次に生かす
役自 わ分の		
役 めわりの あて 自分の		
じゅん び	②自分のやるべき役わりを計画的にした。	◎ ○ 次に生かす
実 行	③体も心もポカポカになるように参加した。	◎ ○ 次に生かす
	④冬のポカポカ会がに協力して、楽しく活動した。	◎ ○ 次に生かす
	⑤自分もみんなもハッピーになった。	◎ ○ 次に生かす

☆活動の感想・次に生かすべきこと

☆今回のかがやいたで賞☆ (じゅんび)

【 】さん

(理由)

☆今回のかがやいたで賞☆ (本番)

【 】さん

(理由)

